



実りの秋

11月8日は松の実保育園の創立記念日です。

保護者のみなさまをはじめ、地域の方々、これまで卒園して行った791名の子どもたちなど園を取り巻く全ての人々に支えていただいた松の実は、今年度から保育所型認定こども園になりましたが、お陰様で39回目の記念日を迎えます。



この色紙は開園を記念して、ヒマラヤを描いた日本画家、吉原芳仙先生が目の前で稲穂を束ねてさらさらと描き、贈って下さった宝物です。

松の実の保育教育にある願いをヒマラヤに託してお示しくださった芳仙先生を偲びながら、総てのこどもたちにある「人間的成長を遂げるべき生まれながらの権利」を保障するために、今、子どもにとって一番大切なことをし続ける園であり続けたい。

そしてこれからも親子で育ち、楽しむこども園であり続けたいと、職員一同初心に返って保育教育をすすめて参ります。

子どもはひとりひとり漏れなくどの子ども自分にとって一番良いことをしてもう権利があります。

一方、大人たちは、その子にとって、最善の利益を図る義務と責任を負っているのです。けれども昨今子どもを犠牲にする痛ましい事件が頻発しています。

「子ども最善の利益」とは何なのか。

どうぞ、この子にとって一番良いことのために、ご意見・ご要望・ご不安・ご不満などございましたら、いつでもご相談ください。

創立記念日を節目に、「こども真ん中」の連携を一層強くして行きたいと願っているところです。

さて、秋の深まりと共に寺尾中央公園の木々が衣替えを終わりました。こども達のおみやげが、紅葉・黄葉に変わっています。

大好きな「秋さがしのお散歩」で、青い空の高さや、流れる雲の形の変化、すべり台にしている枯草坂の滑り心地が春・夏・秋へと徐々に変わって来たこと、靴底から伝わる落葉の音に気付くなど、季節を感じ、楽しんでいるこどもたちの心情をしっかりと受けとめて、育って来ている優しさや自然へのいとしおしさを大切にして行きたいと思っています。

心の育ちを大切にする一方で、今年園では体づくりのあそびにも力を入れていきます。

クラス別に分かれて行う活動の前に、成長発達に合わせたプログラムに基づいて、サーキットで汗を流しています。実りの秋に、心身の健康を維持増進し、助け合い励まし合って共に喜び合える健康な社会性を園生活の中で育んでいきたいと思っています。

「心も体も実る秋」で、この秋をしめくりたい。願いを込めて11月を迎えます。

園長 福田孝子